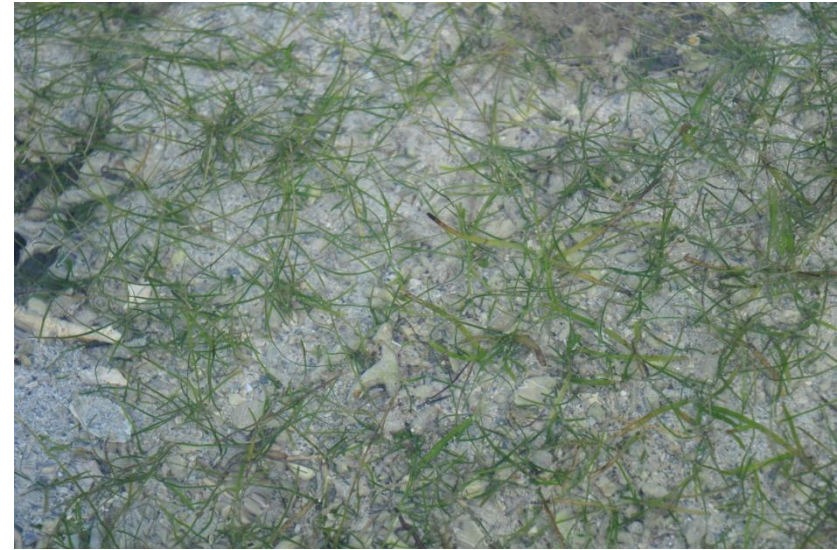




リュウキュウスガモ（オモダカ目トチカガミ科） *Thalassia hemprichii*

写真右側はマツバウミジグサ

方言名：ジャンクサ、ザンクサ

大きさ：高さ 10~40cm。葉の幅 0.5~2cm。

特徴：葉は細長いが、幅は広い。海草類の中では、沖縄で最も普通に見られる種。

分布： 南西諸島：太平洋、インド洋、紅海などの暖海。

希少性： **環境省レッドデータブック（準絶滅危惧）**

リュウキュウスガモは、「海藻」ではなく「海草」。「海草」とは一度陸に上がった植物が、海に戻ってきた植物である。

つまり、このリュウキュウスガモは、海藻とは違って、葉や茎、根があり、時期が来ると花も咲かせる。

方言名で「ジャンクサ」と呼ばれるが、海にすむ大型哺乳類のジュゴンのことを方言で「ジャン」などと呼び、リュウキュウスガモなどはジュゴンが好んで食べることから、「ジュゴンの草」という意味で、「ジャンクサ」または「ザンクサ」とも呼ばれている。